

宮ノ陣クリーンセンター維持管理記録

1. 処分した一般廃棄物(燃やせるごみ)の量

更新月 : 令和6年11月

項目		更新月												
		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
ごみ処理量														
燃やせるごみの処理量	t	3,055.91	3,104.05	2,684.64	3,038.68	2,699.92	2,708.33							

2. 燃焼室中の燃焼ガス温度、集じん器に流入する燃焼ガス温度の一酸化炭素(CO)濃度(すべての日平均値の月平均値)

項目		自主規制値	1号炉											
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
燃焼ガス		—												
測定結果	燃焼室ガス温度	°C	—	917	912	914	916	915	914					
	集じん器入口温度	°C	—	165	165	165	165	165	165					
	一酸化炭素濃度(1時間平均)	ppm	100	3	3	3	3	2	2					

項目		自主規制値	2号炉											
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
燃焼ガス		—												
測定結果	燃焼室ガス温度	°C	—	917	916	915	914	915	914					
	集じん器入口温度	°C	—	165	165	165	165	166	165					
	一酸化炭素濃度(1時間平均)	ppm	100	2	2	2	1	1	1					

燃焼ガスの測定結果は、自動分析計で連続的に測定した値の月平均値を算出しています。

測定箇所は、燃焼室ガス温度は燃焼室出口、集じん器入口温度は集じん器入口、一酸化炭素濃度は煙道での測定になります。

燃焼温度を800度以上の高温にして完全燃焼させ、ダイオキシン類の発生を防止しています。また排ガスは、概ね200度以下にし、ダイオキシン類の再合成を防止しています。

3. 冷却設備、排ガス処理設備にたい積したばいじんの除去を行った日

項目		1号炉・2号炉 共通
冷却設備、排ガス処理設備		焼却炉の運転中は自動で常時引抜き除去を実施しています

4. ばい煙濃度

項目		規制基準 協定値	1号炉											
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
ばい煙濃度	試料採取日	—				7月18日								
	結果の得られた日	—				8月1日								
測定結果	窒素酸化物濃度	ppm	250				46							
		100												
	硫黄酸化物濃度	ppm	3063				8							
		50												
	塩化水素濃度	mg/m <sup>3</sup>	700				3							
	約80													
ばいじん量	mg/m <sup>3</sup>	0.08				0.001								
		0.01												
排ガス中のダイオキシン類濃度	試料採取日	—				9月2日								
	結果の得られた日	—				9月20日								
測定結果	ng-TEQ/m <sup>3</sup>	1以下				0.00037								
		0.05以下												

項目		規制基準 協定値	2号炉											
			4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
ばい煙濃度	試料採取日	—		5月28日										
	結果の得られた日	—		6月11日										
測定結果	窒素酸化物濃度	ppm	250	49										
		100												
	硫黄酸化物濃度	ppm	3063	14										
		50												
	塩化水素濃度	mg/m <sup>3</sup>	700	11										
	約80													
ばいじん量	mg/m <sup>3</sup>	0.08		<0.001										
		0.01												
排ガス中のダイオキシン類濃度	試料採取日	—		9月9日										
	結果の得られた日	—		9月30日										
測定結果	ng-TEQ/m <sup>3</sup>	1以下		0.0038										
		0.05以下												

規制基準: 大気汚染防止法

ばい煙濃度の測定結果は、窒素酸化物濃度、塩化水素濃度、ばいじん量は、酸素濃度12%換算による補正濃度です。

6月に1回、炉ごとにばい煙濃度を測定しています。

試料は煙道から採取しています。